

【OIE 情報】韓国における口蹄疫（0 型）の発生について

韓国における口蹄疫（0 型）の発生について、2014 年 12 月 5 日付けで OIE へ報告（緊急報告）がありましたのでお知らせいたします。

出典：OIEウェブサイト（2014年12月5日付け）

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=16695

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

【概要】

- ・発生数：1 件（緊急報告）
- ・発生日：2014 年 12 月 3 日
- ・OIE への報告日：2014 年 12 月 5 日
- ・血清型：0 型

【発生状況】

- ・発生場所：忠清北道（ちゅうせいほくどう）鎮川（ジンチョン）郡 鎮川邑の農場

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
豚	15,884	30	0	574	0

【疫学情報】

- ・感染源：不明又は調査中
- ・現在、疫学調査を実施中
- ・感染動物の淘汰予定

【対応】

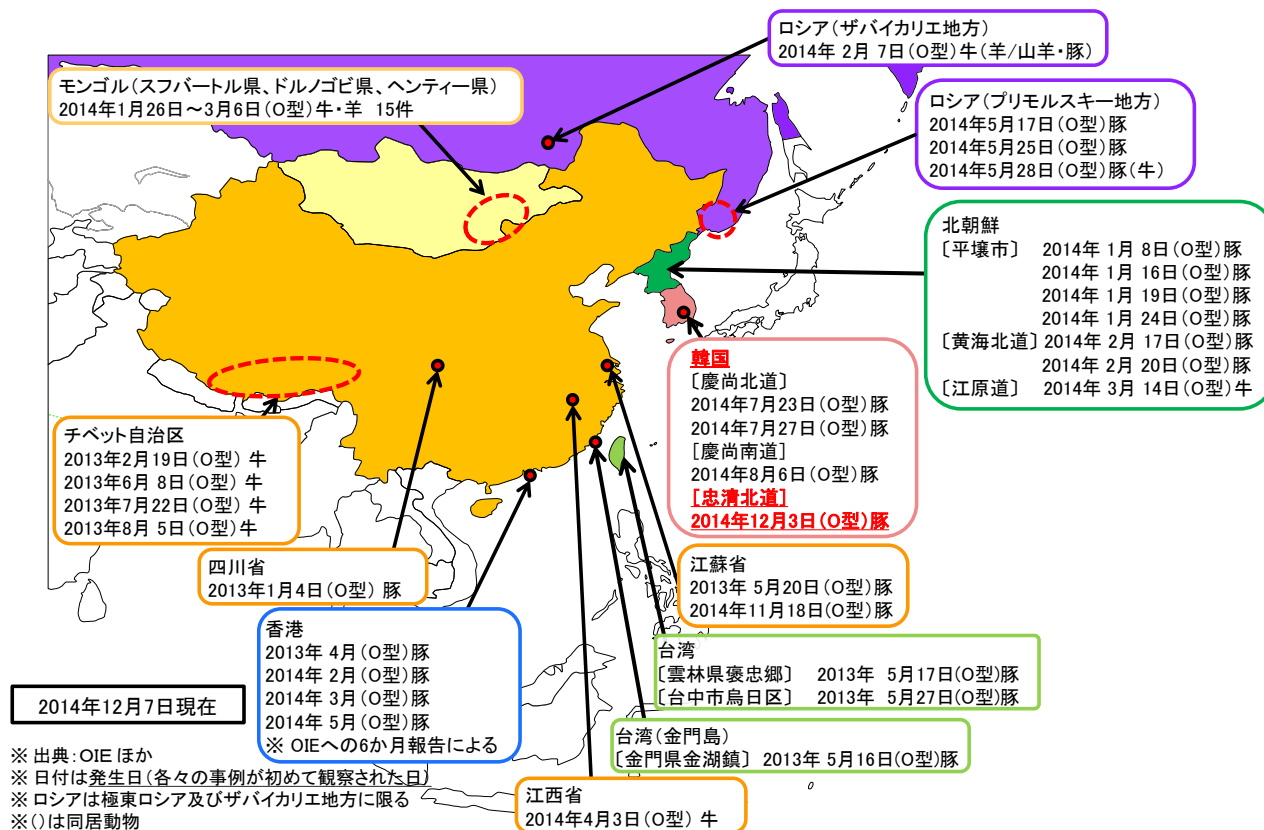
- ・感染源となる野生動物のコントロール
- ・ゾーニング
- ・隔離
- ・施設等の消毒実施
- ・国内における移動制限
- ・部分淘汰
- ・スクリーニング
- ・患畜を治療対象としない
- ・発生に応じたワクチン接種

地域	動物種	接種頭数
忠清北道 鎮川郡	豚	130,000 頭

【診断】

- ・診断施設：農林畜産検疫本部（国立研究所）
- ・診断法：ELISA、real-time PCR（いずれも陽性）
- ・確認日：2014年12月5日

【参考情報】中国、香港、台湾、韓国、北朝鮮、モンゴル、ロシアにおける口蹄疫（O型）の発生状況（2013年1月以降の発生）



(参考1) 韓国でのO型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

豚、牛、山羊及び鹿がA、O及びAsia-1型の混合ワクチン接種対象となっている。

(参考2) 中国でのO型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

全ての豚、牛、羊、ラクダ及び鹿がO型口蹄疫ワクチンの強制接種対象となっている。

(参考3) ロシア（極東ロシア）でのO型口蹄疫に関する情報

国境地帯に口蹄疫の緩衝地域を設定し、牛及び小型反芻動物に対して、A、O及びAsia-1型の混合ワクチンを接種している。

(参考4) 香港でのO型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

全ての種豚及び12週齢以上の豚に対し、4か月ごとにO型口蹄疫ワクチン接種を実施。